

学校統廃合より 少人数数学級を推進せよ

3月定例議会で曾我部博隆市議は①少人数制度について、②総合文化センター等跡地活用事業について、一般質問しました。数学級の推進、②祖父江地区公立保育園再配置について、③シエンダー平等の取り組みについて、服部俊夫市議が①国民健康保紹介します。

新年度より 中学も35人学級に

国は新年度より1学年ずつ35人学級の取り組みをすすめ、28年度にすべての公立小中学校で35人以下の学級になります。

学級規模が大きい と負の影響

文科省は学級規模が大きいと、①児童生徒の学力にマイナスの影響がある、②「自尊心感情」が低く、「向社会的」な行動がとられなくなる、③「無気力」「抑うつ・不安」「不機嫌・怒り」「学級不和」が大きくなる傾向があるとしています。

市も独自で 少人数数学級を

教育部長は「豊田市は小学1〜3年生まで30人以下、中学2〜3年生を35人学級、東郷町は小学校全学年で30人以下」の取り組みをしていると答えました。

法律の改正で、各教育委員会の判断で少人数学級になるよう教員を配置できるようになっています。稲沢市も県の基準以上の少人数学級を行うべきです。

学校統廃合すると 規模が大きくなる

坂田小学校の場合、現在すべてのクラスで25人以下になっています。

千代田小学校と統合した場合、30人程度になるクラスもでるなど、1クラスの規模が大きくなり、少人数学級に逆行します。

統合で学校の規模を大きくするより、ちいさな学校を残すべきではないでしょうか。

保育園を2園にする計画は 市民の声聞いて

稲沢市は祖父江町に4つある保育園を2つにしようとしています。

領内保育園を2028年度から2年間かけて解体・整備

これらにあわせ、祖父江・丸甲保育園、休園中の長岡保育園、領内保育園改修中の代替として使う山崎保育園も廃園・解体する計画です。

区長任せは無責任

子ども健康部長は「区長を通じて地域住民に知らせる」といいます。区長任せでいいのかが問われます。

祖父江町内の保育園は地域の方々の協力で建てた経緯があります。地域の方の意見を丁寧に聞くことが求められ、区長任せは許されません。

定数250で保育 に責任持てるのか

領内保育園の改築後にできる(仮称)祖父江東保育園は、認可定数250にするとしています。

子ども健康部長は「施設の規模、定員の大小で差が生じるものではない」「子ども同士が学び合える環境整備を進めるためにも、一定以上の規模が必要」と、定数250に問題がないといっています。

本当にそうか。元保育士は「250人の名前と顔を覚えることができるか。100人くらいがいい」といいます。

保育士の基準も 減っている

保育士の配置基準も減っています。

保育士の配置基準	従来	現基準
0歳児	3人	3人
1歳児	6人	5人
2歳児		6人
3歳児	20人	15人
4歳児	30人	25人
5歳児		

(例) 0歳児の保育士の配置基準は児童3人に1人の保育士という意味です。

保育園1階建てに

(仮称)祖父江東保育園は定数を250にするため、2階建てにする構想です。避難訓練等をして、なぜ2階建てにする必要があるのか。定数を減らし、平屋(1階建て)の園舎を検討するべきです。